



令和4年12月20日(火)

第8回原始・古代・考古グループ会議を開催しました

第8回原始・古代・考古グループ会議では、委員が作成した『新編遠野市史 資料編 考古』の原稿をもとに、遺跡の掲載順や、今後の作業手順について確認しました。文字原稿は全体の約7割が提出され、以降は図面の作成や掲載する写真の選定などを行い、これらを配したレイアウト見本を各自で作成することを申し合わせました。さらに文字原稿が揃ってから、細かな文章表記のすり合わせを行う予定です。

また、今年度作成する遠野市遺跡地図についても、新たに追加する遺跡や表記について確認しました。



▲会議の様子

掲載予定の主な遺跡

- 金取遺跡
- 綾織新田遺跡
- 夫婦石袖高野遺跡
- 張山遺跡
- 栃洞遺跡
- 高瀬Ⅰ・Ⅱ遺跡
- 宮代Ⅳ遺跡
- 山谷観音経塚
- 東禅寺跡
- 篠館(関口館)遺跡
- 南部家墓所
- 佐比内鉄鉦山遺跡 ほか



資料編に掲載する遺跡は、岩手県や遠野市が発掘した遺跡を中心に60ヶ所余りを予定しています。

Q1 出身地

福島県相馬市です。先祖は鎌倉時代末、領主の相馬氏に従って下総から奥州にやってきた熊野修験らしいです。

Q2 所属

みちのく民俗文化研究所の代表です。

Q3 専門分野

日本民俗学です。生活の中にみられる民俗文化は有形無形を問わず何にでも興味を持っています。なかでも、人の営みと景観との関係性を探ったり、祭礼や行事の分析、民俗を表現する方法としての民俗誌には、ずっと関心を持ち続けてきました。

Q4 市史に関して今もっとも興味を持っていること

各地を歩くと、入り込んだ文化が流出しやすいところと、逆にそれを蓄積させていく土地があるように思います。遠野はさまざまな文化を受け入れながら、それをうまく調和させ保存している土地だと思います。遠野の人々の心を支えている「土地柄」を明らかにできればいいなあ…、なんて思っています。

Q5 メッセージ

民俗学は土地の人の話を聞きながら学んでいく学問です。民俗部会のほかの委員さんともども、さまざまなことを教えていただきたいので、どうかよろしくお付き合いください。

岩崎 真幸 いわさき まさき

遠野市史編さん委員会 委員
遠野市史編さん民俗部会 部会長



遠野市文化財保護審議会の委員なども務めています

編さん委員紹介

若水汲みの桶飾り

資料紹介

この写真は、遠野高校教諭で郷土史家でもあった及川勝穂（1919-1964）が昭和30年代に若水汲みの桶飾りを撮影したものです。

若水とは元日の朝に汲む水のこと、飲めば若返るといわれ元日の炊事に用いられました。古代は立春に汲むものでしたが、室町時代から江戸時代にかけて元旦に汲むようになりました。地方や家によって異なりますが、遠野では若水汲みや若水あげなどと呼び、『郷土のすがた』には「黄金を迎えに参りました」と3回繰り返しながら3回で満水になるように汲むと記録されています。また、この若水を汲む桶や柄杓は新調し、しめ縄を張ってお供え餅を供えました。この写真では、土間に臼を伏せてしめ



縄を張り、その上に桶と柄杓をのせています。

若水汲みは、月読命が持つと信じられていた変若水（若返りの水）に対する古代の信仰に由来するとも言われています。しかし現在では水道が整備され、若水を汲む風習はほとんど見られなくなりました。

【参考文献】

『遠野学叢書No.9 上閉伊西部教育資料 郷土のすがた』2017
『岩手県文化財調査報告書第80集 岩手の小正月行事調査報告書』1984 ほか

令和4年度古文書講座

はじめての古文書

本講座は古文書（くずし字）の解説だけではなく、その内容を解して江戸時代の遠野についてわかりやすく解説します。
家に伝わる古文書を読みたい方、古文書を初めて目にする方でも楽しめます。
各回完結ですので、興味のある回のみ参加も可能です。

2023年
第1回 1月14日(土)
年貢の納めどき～遠野の村の古文書から

第2回 1月20日(金)
江戸時代の遠野の名産品はなに？

第3回 1月27日(金)
発見する楽しさ～遠野南部家の正月行事

各回共通
時間 | 10:00～11:30
場所 | 遠野市立図書館視聴覚ホール
参加費 | 無料 定員 | 20名

講師
菊池秀男氏 遠野市史編さん近世部会委員
菊池忠昭氏 遠野市史編さん調査研究員

申込方法
電話で市史編さん室 ☎62-2340 へお申込みください。
その際、参加を希望する回をお伝えください。
ただし、定員に達し次第受付を締め切ります。

新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止のため、参加の際はマスクを着用ください。
当日体調の悪い方（37.5℃以上の発熱、咳、喉の痛みなどの症状がある方）は、参加をご遠慮いただきます。
また、状況により中止となる場合があります。どうぞご了承ください。

遠野市 市史編さん室
〒028-0515 岩手県遠野市東館町3番9号（遠野市立図書館・博物館内）
TEL:0198-62-2340 FAX:0198-62-5758

令和4年度古文書講座 「はじめての古文書」を開催します！

今年度の古文書講座は、地元の史料から税金や名産品といった身近なテーマを取り上げます。古文書（くずし字）を読むだけでなく、その内容を通して江戸時代の遠野について解説するほか、博物館見学を通して理解を深めていただく予定です。

全3回の開催ですが、各回完結ですので、ご興味のある回のみ参加も可能です。古文書を読みたい方、古文書を初めて目にする方もお気軽にご参加ください。お申込みお待ちしております。

参加には事前の申込みが必要となります。詳しくは市史編さん室までお問い合わせください。また、古文書をお持ちの方はぜひ情報をお寄せください。



編集・発行 遠野市民センター市史編さん室

〒028-0515 岩手県遠野市東館町3番9号（遠野市立図書館・博物館内）

TEL:0198-62-2340 FAX:0198-62-5758